



現代日本の文学

---

---

# 三島由紀夫集

---

---

〈監修委員〉

伊藤 整

井上 靖

川端 康成

三島由紀夫

〈編集委員〉

足立 卷一

奥野 健男

尾崎 秀樹

北 杜 夫

(五十音順)

学習研究社

---

現代日本の文学

33

全50巻

分割払価格 39,000円

現金価格 35,500円

---

檀 一 雄

織田作之助 集

田 中 英 光

昭和45年11月1日 初版発行

昭和48年5月1日 十版発行

檀 一 雄

著 者 織田作之助

田 中 英 光

発行者 古岡秀人

発行所 株式会社 学習研究社

東京都大田区上池台4-40-5

郵便番号 145 振替東京142930

電話 東京(720)1111 (大代表)

印刷 大日本印刷株式会社

中央精版印刷株式会社

製本 中央精版印刷株式会社

本文用紙 三菱製紙株式会社

表紙クロス 東洋クロス株式会社

製函 日本紙パルプ商事株式会社

---

\*この本に関するお問合せやミスなどがありましたら、  
文書は東京都大田区上池台4丁目40番5号(〒145)学研  
「ユーザー・サービス本部事務局」現代日本の文学係へ、  
電話は、東京(03)720-1111 内線352,353か、東京(03)  
727-1600へお願いします。

---

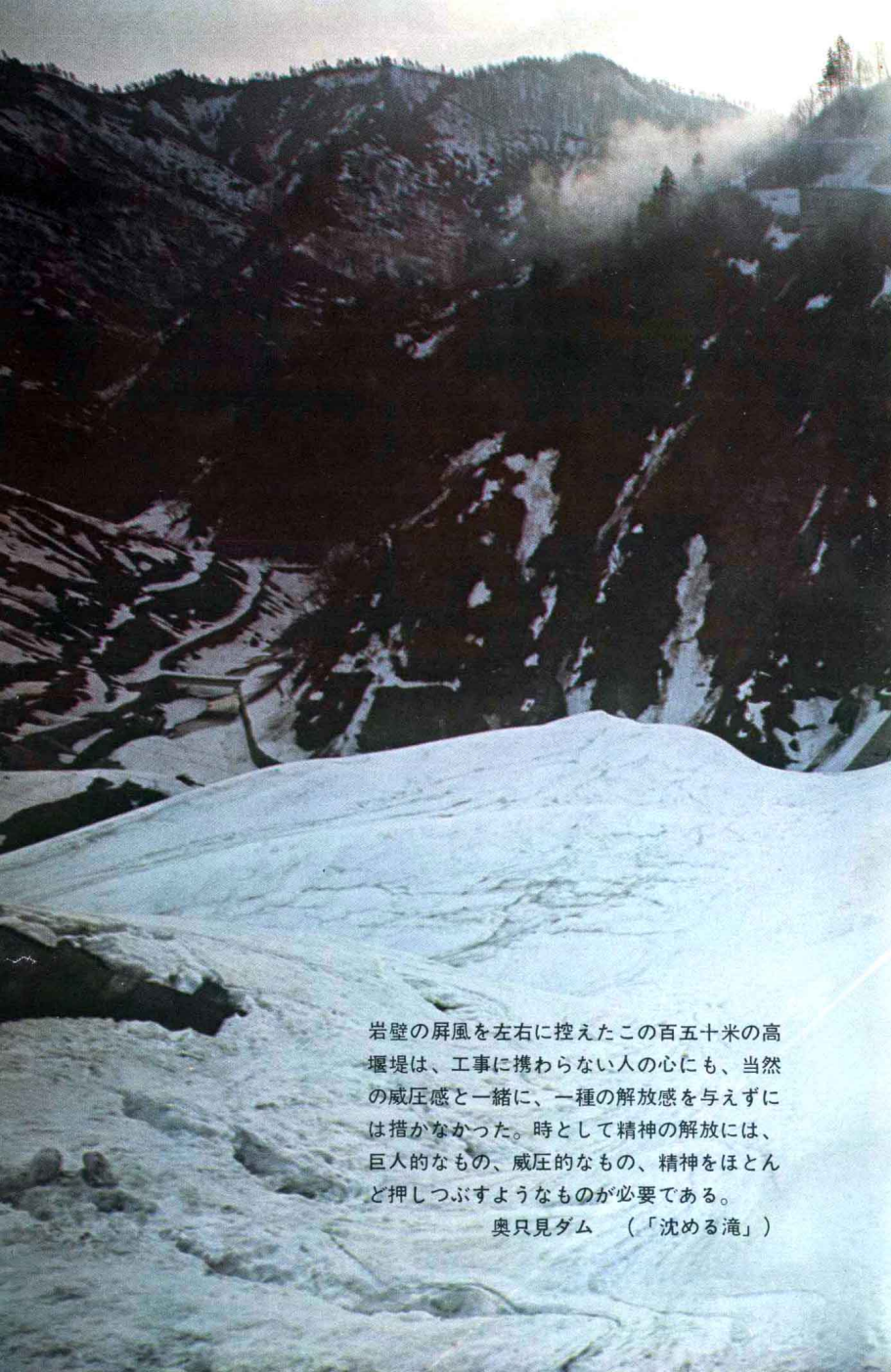


ダム建設の技術は、自然  
人間との戦いであると共  
対話であり、自然の未知  
効用を掘り出すためにお  
れの未知の人間的能力を  
覚する一種の自己発見で  
ければならなかった。

(「沈める滝」)







岩壁の屏風を左右に控えたこの百五十米の高堰堤は、工事に携わらない人の心にも、当然の威圧感と一緒に、一種の解放感を与えずには措かなかつた。時として精神の解放には、巨人的なもの、威圧的なもの、精神をほとんど押しつぶすようなものが必要である。

奥只見ダム（「沈める滝」）







石抱橋をわたってゆく道は、  
屈曲のはげしい岸をめぐつ  
三里四方の湖の対岸をゆく：  
石抱より枝折峠を見る

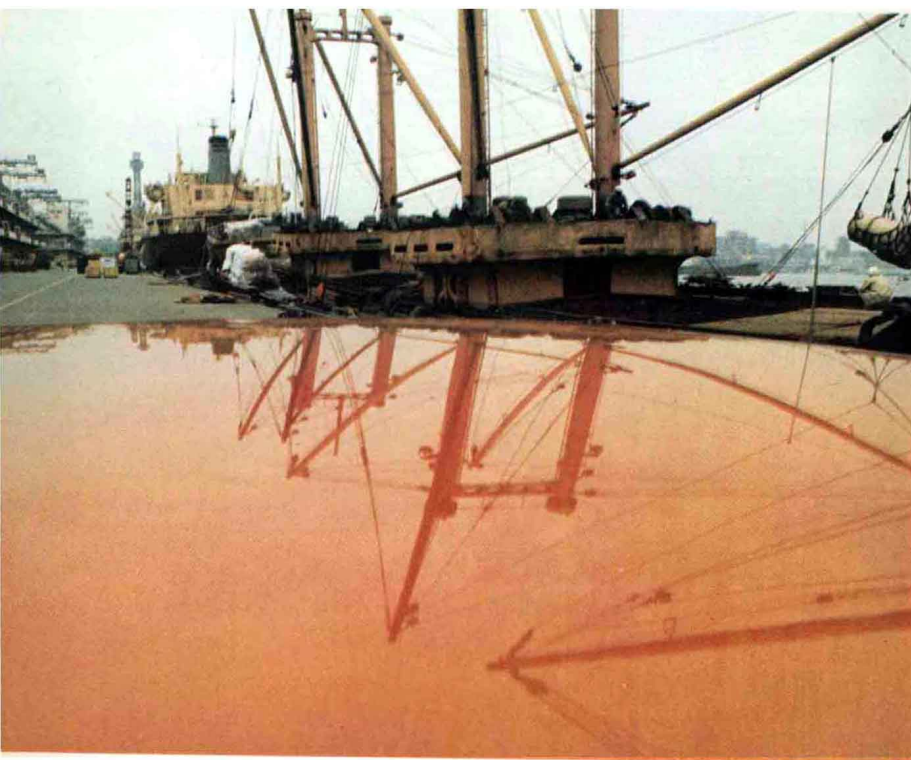
(「沈める滝」)

やがて銀山平がその下に没  
た人造湖の広大な風光がひ  
がった。あなたには福島県  
山々が影を落していたが、  
の姿は、そのどの高さを水  
で切っても、おのずから形  
成して、前からここが湖だ  
たかのように自然であった。

(「沈める滝」)







「港の水域のむこうに……紅白の縞の  
マリン・タワーが聳え」立っているの  
が見える。  
（「午後の曳航」）

横浜港 山下埠頭よりタワーを望む

——そのとき、新港埠頭セウア・ヒアの方角から、  
遠い汽笛がおぼろげに伝わってきて、  
あたりに充ちた。それは音のあいまい  
な霧がひろがるようで、彼が船乗りで  
なかつたら、耳にもとまらなかつたに  
ちがいない。

『今ごろ出る貨物船があるんだな。荷  
役がおわったのは、どこの会社の船だ  
ろう』  
（「午後の曳航」）

横浜港 山下埠頭に停泊中の貨物船



剣道部の夏の合宿は……西伊豆の田子という漁村で行われることになった。……合宿の場所は円隆寺という禅寺だ。  
伊豆半島 大田子の円成寺より港を望む (「剣」)



私は鏡湖池のこちら側に立っており、金閣は池をへだてて、傾きかける日にその正面をさらしていた。……藻や水草の葉のまばらにかんだ池には、金閣の精緻な投影があり、その投影のほうか、いっそう完全に見えた。

京都 金閣寺

（「金閣寺」）







夜空の月のように、金閣は暗黒時代の象徴として作られたのだった。そこで私の夢想の金閣は、その周囲に押しよせている闇の背景を必要とした。……人がこの建物にどんな言葉で語りかけても、美しい金閣は、無言で、繊細な構造をあらわにして、周囲の闇に耐えていなければならぬ。

京都 金閣寺 (「金閣寺」)





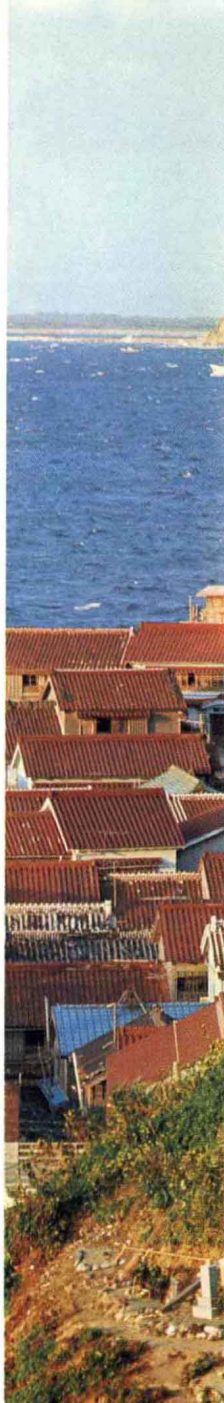
鳥羽市 神島町の漁村

(「潮騒」)

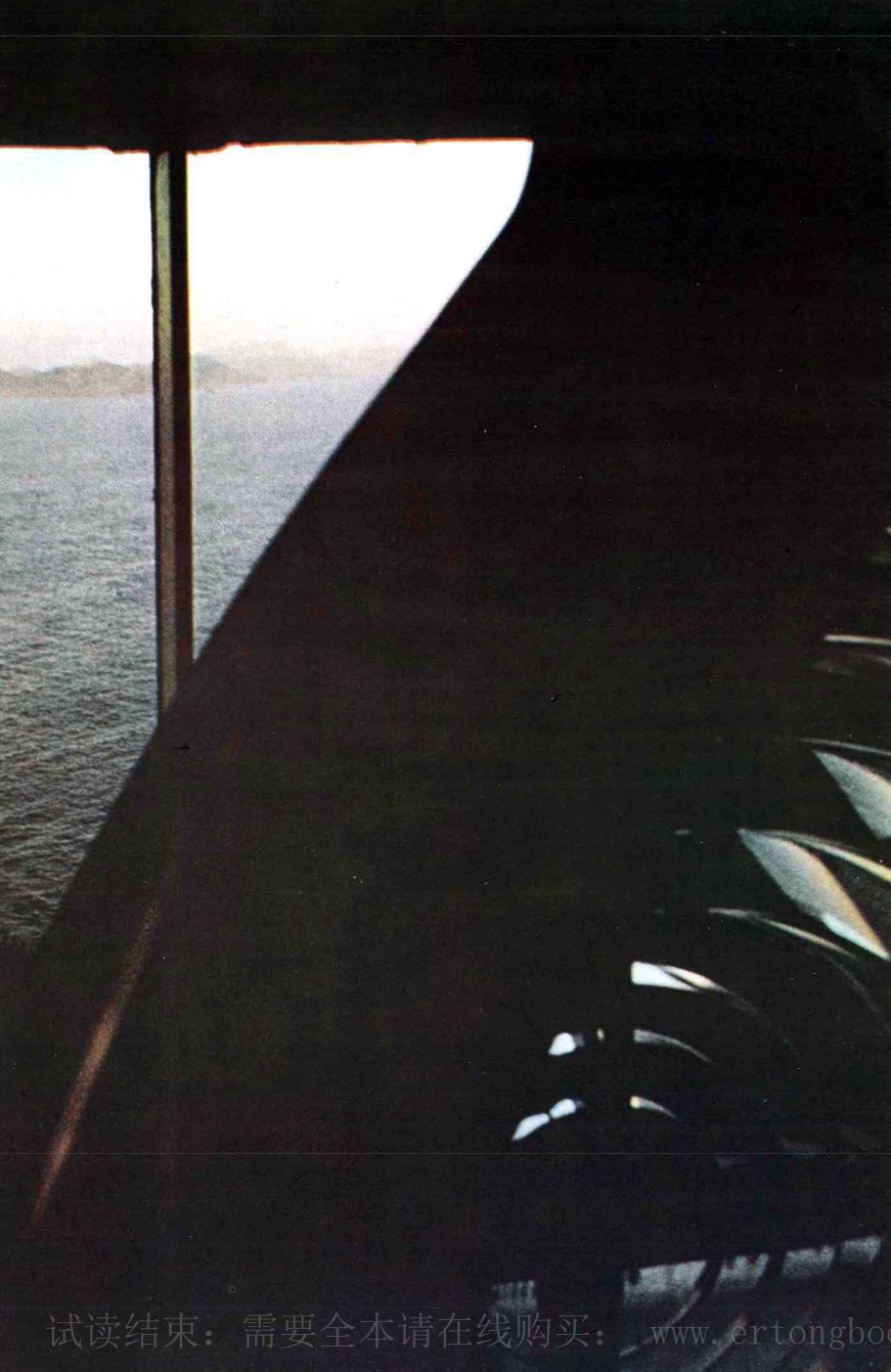
「汝（おぬ）がそれをとつたら、俺もとる」

……少女は胸から下半身を覆（おほ）うていた白い肌着を背後にかなぐり捨てた。若者はそれを見ると、雄々（おとこ）しく彫像のように立ったまま、少女の炎にきらめいている目をみつめながら、下帯（おび）の紐（ひも）を解いた。(「潮騒」)

神島 観（かん）的（てき）哨（せう）跡（せき）







试读结束：需要全本请在线购买：[www.ertongbo.com](http://www.ertongbo.com)